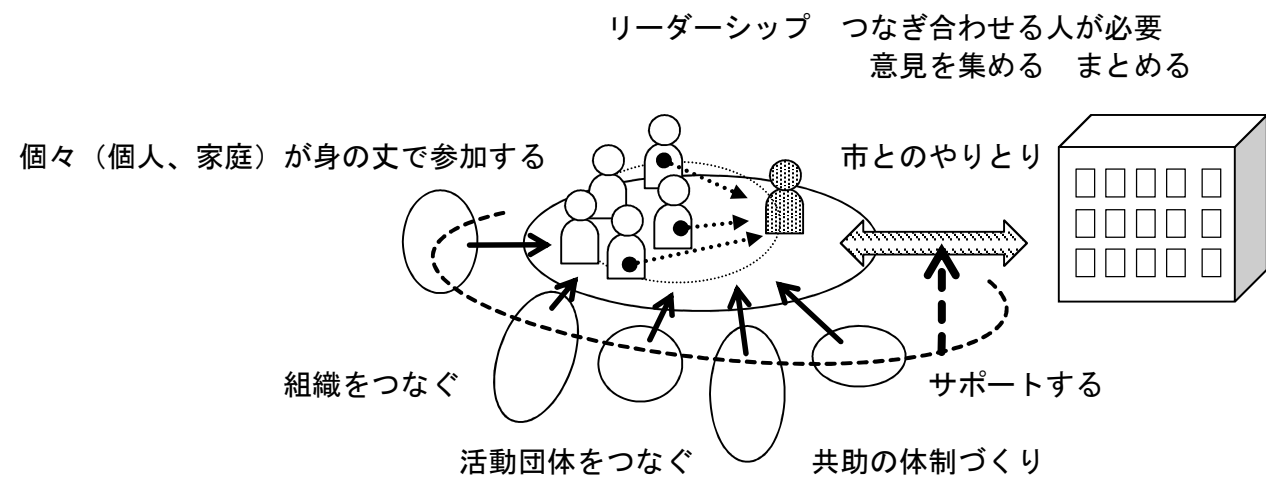


	Aグループ	Bグループ	Cグループ	まとめへ
これからの島田市のまちづくりにとって、自治会などの地域コミュニティ活動は… どうありたいか？	自治会→市→→→点(家庭) 必要な情報を提供、報告する役割 新組織→点↔↔↔市 個々の声を聞き、市に伝え、市からも返答してのやりとりを担う		地域で活動している団体、個人の横のつながりづくり	住民同士のつながり 団体同士の横のつながり 市との円滑なやりとり
そのわけは	市民がまちづくりに参加 市民の声を活かしたまちづくり		各個人や団体が個別に活動しており、横の伝達が回っていない	市民がまちづくりに参加する 市民の声を活かしたまちづくり
そのために大切な考え方	きめ細やかさ、公平さ		誰もが安心して暮らせるまちづくりをしていくという気持ち	安心して暮らせるまちづくり きめ細やかさ 公平さ
有効な方法、アイデアなど(代わりに)	全体を見渡しての公平性 「新組織」を担う「人」の存在 どんな人が?どう実施する?		各団体、個人をつなぐシステム(組織) リーダーシップ リーダーになる人 人材 リーダーシップ+αの人 外から見る力のある人 自分のおもいが強い人 全体がわかる 視野が広く人の話も聞く 60才以上 65才(年金)*** 地区社会福祉協議会の推進 自治会(子ども会、いろいろな会)一緒にまともろう! ソフト、野球市民スポーツ大会(5種、社会 体育協会 ←市役所) 行政の立場 市民の立場	新しい組織(体制)システム リーダーシップの醸成 ・広い視野 ・住民の話をよく聞く(声を集める) ・(市と地域・団体同士を)つなげる
その大きさによって考えていくべきことは変わる? 地域の課題~これから必要になると思う活動 望ましい運営、組織体制				
小(隣組程度)	近所の人同士が知り合う なんでも言い合えるような関係づくり (各家庭=点)縁がつながる	アパートで自治会費も納めない人がいる 全市民(世帯)が町内会に加入する 消防団の活動費を払わない人がいる		点(家庭)をつなぐ (参加意識を高める)
中(自治会程度)	隣組の中で出た問題点を自治会に伝達、共有 市からの伝達事項を隣組へ 面をつなげる	コミュニティ活動に職員が関心ない 市役所の職員が自治会(コミュニティ活動)に参加しない人もいる 組織がいろいろあって、たとえば災害や町づくりの際にどこが中心あるいは司令塔になっているかわからない 自治会とコミュニティ活動(NPOに?)の関係性		面をつなげる 自治会とコミュニティ活動がつながる
大(地域、中学校区程度)	より高い位置から全体を把握しての意見集約 →市へ伝達 球(立体的)に広げる			球(立体的)に広げる 地域の意見集約
行政に望むこと	わかりやすい情報提供 チラシ等見える形で 自治推進委員を自治会長が兼務しないでやる	地域活動のリーダーシップはどこがとっていくか?(各組織の関係性) 割り当てられた役をこなすというわけではなく自分から参加しやすいきっかけやしくみ 関心がない人にどう意識をつけるか?実際に!		活動参加のきっかけづくり 意識啓発 わかりやすい情報提供
議会に望むこと		活動と市民に距離がある?		つながりづくり

島田市の市民主体のまちづくりを進めるために				
地域コミュニティの役割とは	公平できめ細やかな情報収集	自治の基本、基盤づくり 共助のための体制づくり		共助の体制づくり 自治の基盤
島田市の地域コミュニティは を大切に、	現状として市の情報を下達するだけでいっぱい いっばいの組織になっているため、各戸（個）の 意見、要望を市に投げかけ、市からの返答 相互の流れを	ちょっと関わるとぬけられないのは困る！ 島田市民だと他にないつながりによって安心 がある 一人一人が身の丈で参加できる（しやすい） 支援体制		（住民同士、市と）つながり 個々の参加
をします。	地域住民の意見、要望を集約する機関、組織にし ます。	情報のインフラ?!		意見集約 情報伝達ルート確保
行政との望ましい関係とは	スムーズに情報交換できる関係 市民の声を聴く行政	情報、コミュニケーションの共有 行政（仕事・業務ではなく）ー市民同士とし ての関わりコミュニケーション		情報交換 コミュニケーション
市民は （どう関わるか）	自覚をもって協力	行政に任せきりにならない、頼り過ぎない→ 自分たちでできることは自分たちで！（防災、 まちづくり）		自分たちでできることは自分たちでと いう市民の自覚をもち、協力しあう



《発表・まとめ》のイメージ



島田市の地域コミュニティは、安心して暮らせるまちづくりを目指して、きめ細やかさ、公平さを大切にして住民同士、団体同士の横のつながりや市との円滑なやりとりができるようにして、市民がまちづくりに参加するとともに市民の声を生かしたまち（地域コミュニティ）づくりを進める。そのためには、
新しい組織（体制）システム と **リーダーシップの醸成** が必要
 面をつなげる ・広い視野
 わかりやすい組織体制 ・住民の話をよく聞く（声を集める）
 （情報伝達ルートの明確化） ・（市と地域・団体同士を）つなげる
 市役所職員の参加
 市は、市民に対して活動参加のきっかけづくり、意識啓発を
 議会は、地域との距離を縮めるようにつとめる
 市民は自分たちでできることは自分たちでという市民の自覚をもち、協力しあう